

社会福祉科目のNIE授業実践報告

－保育学科を中心に－

Report on NIE Practice in an Social Welfare Course Focusing on Childcare Department

(2022年3月31日受理)

松 井 圭 三

Keizo Matsui

Key words : NIE, 新聞, 社会福祉, ビデオ

要 旨

これまで、保育士養成科目において、新聞を教材にして、記事内容から関係法律、制度を学習するワークブックを製作してきた。また、このワークブックをそれぞれの科目において使用し、学生の学習効果や新聞に対する考え方等を調査、分析してきた。

今回は「社会福祉」科目において生の新聞を通じて社会福祉を学習した。また、各単元にあったテレビのニュースや福祉番組の視聴覚教育も取り入れた。今回は山陽新聞記者がNIE(教育に新聞を)や文章の作成等の授業も取り入れた。

この授業のあと、学生にアンケートを実施し、分析、整理した研究である。

I. はじめに

これまで、2012年「本学学生の新聞についての意識調査の分析」、2013年「学科間の学生の新聞についての意識調査の比較」、2014年「異なる学科・学校種間の比較」、2015年「NIE実践後の効果アンケート結果からの各学科の効果の特徴把握」、2016年「社会福祉記事ワークブックを用いたNIE実践」、2017年は「NIE児童福祉演習における保育学科の意識調査」、2018年は「NIE社会福祉記事ワークブックの実践と論文の文章能力の変化」について分析した・2019年は「NIE家庭支援演習の実践報告」、2020年は「NIE介護の基本演習」を人間栄養学科で実施し、報告した。

今回は本学保育学科1年生において「社会福祉科目」でNIE実践を行った。具体的には、山陽新聞社と連携し、同新聞社の記者が15回の授業で3回授業を行った。各回のテーマは「NIE(教育に新聞を)とは何か」、「聞く力、取材する力」、「記事の書き方・レポートの書き方」

である。残りの12回の授業では、「高齢者福祉」、「障がい者福祉」、「子ども家庭福祉」、「母子保健福祉」、「公的扶助」等の社会福祉のトピックについて山陽新聞を丸ごと使用し、学生が各テーマの新聞記事を自由に探し、スクラップし、精読、わからない語句、用語、法律、制度を調べ、また記事を読んだ感想をワークシートに記入させた。

その後、小グループで各自がその内容を発表する機会を設けた。また、今回は新聞だけでなく、各テーマににあったテレビのニュース、福祉番組の一部の学生に視聴させ、感想文を課すことにした。加えて、学生にスクラップ帳を配布し、ホームワークとして好きな新聞記事を同帳に貼り、要約、感想を課した。授業後において、このNIE実践後のアンケートを取り、集計、分析したものである。このアンケート結果を通して、社会福祉教育におけるNIE実践の効果を明らかにし、あわせて学習指導上の課題について考察する。

II. 研究方法

対象は、保育学科2年生「社会福祉科目」登録の学生であり、回答数は96人であった。

調査日は2021年7月21日実施し、NIE実践の効果や新聞に対する意識調査を行った。

効果測定については、多肢選択式による量的把握だけでなく、理由についての自由記述の内容対比もあわせて行った。

III. 研究結果

「社会福祉科目のアンケート」の結果は次のとおりである。

アンケート実施日 2021年7月21日

回答者 保育学科1年1,2組 96人

設問1.

1. この授業では、第1回の特別授業で山陽新聞記者の授業を行いました。この授業では、「NIEとはなにか」、「新聞とはなにか」、「新聞の読み方、楽しみ方」を学びました。この特別授業はあなたにとって役に立ちましたか。

I よく役に立った	29人 (36,7%)
II 役に立った	22人 (27,8%)
III 少しは役に立った	9人 (11,4%)
IV どちらともいえない	13人 (16,5%)
V あまり役に立たなかった	5人 (6,3%)
VI 役に立たなかった	0人 (0%)
VII 全く役に立たなかった	1人 (1,3%)

2. III以下の役に立った方に質問します。役に立った理由を記入してください。

自由記述（学生の文章を使用）

- ① 前より新聞が読みやすくなった。19人
- ② 新聞に興味はなかったけど新聞の面白さに気づいたから。18人
- ③ レポートの作成に活かすことができた。3人

3. V以上の役に立たなかった方に質問します。役に立たなかった理由を記入してください。

自由記述（学生の文章を使用）

- ① 授業の仕方が悪く、あまり意味がない。1人

② 話が理解しにくかった。1人

③ 家で新聞を取っていないし、読まないから。1人

設問2

この授業では、第2回の特別授業で山陽新聞記者の授業を行いました。この授業では、「記事の書き方」、「レポートの書き方」を学びました。この授業は役に立ちましたか。

I よく役に立った	26人 (27,1%)
II 役に立った	44人 (45,9%)
III 少しは役に立った	8人 (8,3%)
IV どちらともいえない	14人 (14,6%)
V あまり役に立たなかった	2人 (2,1%)
VI 役に立たなかった	1人 (1,0%)
VII 全く役に立たなかった	1人 (1,0%)

2. III以下の役に立った方に質問します。役に立った理由を記入してください。

自由記述（学生の文章を使用）

- ① 自分の聞き方次第で相手との話が変えることが理解できた。20人
- ② 文書の書き方について聞いた。5人

3. V以上の役に立たなかった方に質問します。役に立たなかった理由を記入してください。

自由記述

- ① 授業の仕方が悪いからあまり意味がない。1人
- ② 興味が持てず、わからなかった。1人

設問3

この授業では、第3回の特別授業で山陽新聞記者の授業を行いました。この授業では、「NIE実践によるプレゼンテーションの仕方」を学びました。この特別授業はあなたにとって役に立ちましたか。

I よく役に立った	26人 (27,4%)
II 役に立った	41人 (43,1%)
III 少しは役に立った	10人 (10,5%)
IV どちらともいえない	16人 (16,8%)
V あまり役に立たなかった	1人 (1,1%)
VI 役に立たなかった	0人 (0%)
VII 全く役に立たなかった	1人 (1,1%)

2. III以下の役に立った方に質問します。役に立った理由を記入してください。

自由記述（学生の文章を使用）

① レポートを書く機会が多く、正しい書き方がわかったから。28人

② どのように書けばいいかわかった。5人

③ わかりやすかった。3人

3. V以上の役に立たなかった方に質問します。役に立たなかった理由を記入してください。

自由記述（学生の文章を使用）

① 話が理解ができなかった。2人

② 覚えていない。1人

設問4

この授業では、3か月間新聞を取り、社会福祉の授業で新聞記事から社会福祉の制度を調べたり、要約、感想、グループワークを行いました。第3回の特別授業で山陽新聞記者の授業を行いました。この授業はあなたにとって役に立ちましたか。

I よく役に立った 30人 (31,5%)

II 役に立った 44人 (46,3%)

III 少しは役に立った 10人 (10,5%)

IV どちらともいえない 9人 (9,5%)

V あまり役に立たなかった 1人 (1,1%)

VI 役に立たなかった 1人 (1,1%)

VII 全く役に立たなかった 0人 (0%)

2. III以下の役に立った方に質問します。役に立った理由を記入してください。

自由記述（学生の文章を使用）

① 社会福祉のことに興味が持てた。7人

② 要約力がついた。7人

③ 自分の知識となった。7人

④ 保育にも福祉が必要なのでよかった。3人

⑤ 新聞から社会福祉が学べてよかった。2人

3. V以上の役に立たなかった方に質問します。役に立たなかった理由を記入してください。

回答者なし。

設問5

この授業では、各単元の実際の事例、ビデオを視聴し、感想、質問を課しました。この科目を履修するうえで、あなたにとって役に立ちましたか。

I よく役に立った 21人 (23,6%)

II 役に立った 42人 (47,2%)

III 少しは役に立った 9人 (10,1%)

IV どちらともいえない 15人 (16,9%)

V あまり役に立たなかった 0人 (0%)

VI 役に立たなかった 0人 (0%)

VII 全く役に立たなかった 2人 (2,2%)

2. III以下の役に立った方に質問します。役に立った理由を記入してください。

自由記述（学生の文章を使用）

① 今の社会の現状について知ることができたから。11人

② いろいろな視点から福祉の問題について知ることができた。10人

③ 現代社会で向き合う問題を見ることができたから。9人

3. V以上の役に立たなかった方に質問します。役に立たなかった理由を記入してください。

① ビデオを見ていたら、退屈になった。1人

③ そもそもビデオを見ていない。1人

④ 集中できなかった。1人

設問6

社会福祉の授業が、その後の新聞を読む契機になり、授業の後、以前より新聞を読むようになりましたか。

I よく読むようになった 25人 (26,3%)

II 少しは読むようになった 20人 (21,1%)

III もともとよく読んでいる 4人 (4,2%)

IV 変わらない 22人 (23,1%)

V ほとんど読まない 9人 (9,5%)

VI 読まない 14人 (14,7%)

VII 以前より読まなくなった 1人 (1,1%)

(回答者95人)

2. I・IIの読むようになったと答えた方に質問します。読むようになった理由を記入してください。

自由記述（学生の文章を使用）

① 新聞の大切さに気づいたため。7人

② 新聞は正しい情報だと聞き、信用して読むようになった。5人

③ いろいろな記事について知りたくなったから。5人

④ 新聞をスクラップするため。4人

⑤ 社会福祉の記事について探さようになった。4人

3. V.以上の読まない、読まなくなったと答えた方に質問します。読まない理由を記入してください。

- ① 新聞を取っていない。10人
- ③ 時間がない。7人
- ④ 興味がない。2人
- ④ スマホのニュースを見るから。2人

4. I・II・IIIの読む・読むようになったと答えた方に質問します。この実践前と比べて、新聞を読む時間はどのくらい増えましたか。

- I 5分未満 21人 (21,9%)
- II 5分以上10分未満 0人 (0%)
- III 10分以上15分未満 4人 (4,2%)
- IV 15分以上20分未満 0名 (0%)
- V 20分以上 1人 (1.1%)

5. I・II・IIIの読むようになった・読むと答えた方に質問します。新聞はどのような記事を読みますか。(複数回答)

- I 新聞全体 21人
- II 政治経済関係 10人
- III 家庭・暮らし関係 11人
- IV 芸能スポーツ関係 16人
- V 社会保障・社会福祉関係 8人
- VI 地元の情報関係 5人
- VII その他 2人

ここでは、中国学園が授業後に行う授業アンケートについて社会福祉科目が受講学生にどのように影響したのかを紹介したい。

IV. 大学アンケートの調査結果から

1. 回答数68：回答率68%「この分野への理解が深まった。」
回答数54：回答率54%「この分野への興味、関心が深まった。」
回答数14：回答率14%「この分野での技能・技術が向上した。」
回答数28：回答率28%「この分野と他の分野との関連性について理解が深まった。」
回答数25：回答率25%「今後の進路の参考になった。」
回答数9：回答率9%「学習方法の改善に役立った。」
回答数14：回答率14%「コミュニケーション力やプ

レゼンテーション力などの実社会での必要な力が高まった。」

回答数4：回答率4%「あてはまるものがなかった。」
全回答数216

2. この授業の目標を達成できましたか。

- 回答数41：回答率41%「できた。」
- 回答数49：回答率49%「少しできた。」
- 回答数3：回答率3%「あまりできなかった。」
- 回答数1：「回答率1%「できなかった。」
- 回答数6：回答率6%「わからない。」
- 全回答数100

3. 授業に対する教員の意欲が感じられましたか。

- 回答数74：回答率74%「感じられた。」
- 回答数19：回答率19%「少し感じられた。」
- 回答数3：回答率3%「あまり感じられなかった。」
- 回答数4：回答率4%「感じられなかった。」
- 全回答数100

4. 総合的に判断して、この授業に満足しましたか。

- 回答数56：回答率56%「満足。」
- 回答数32：回答率32%「ほぼ満足。」
- 回答数9：回答率9%「やや不満。」
- 回答数3：回答率3%「不満。」
- 全回答数100

5. 学生の社会福祉科目に対する自由記述

- ① 保育士などの現状や今後のこと、また、保育だけでなく、福祉のことについても理解できてよかった。
- ② 新聞を読む習慣がなかったが、この授業を受け、新聞を読むようになった。
- ③ 社会福祉の範囲があやふやだったが貧困やひとり親、高齢者、子どもなどの記事なども社会福祉なんだと初めて知りました。社会福祉の理解が深まって、たくさんの人や考えや思いなどもこの授業を通して知り、今後の授業や社会に出て働いたときにいろいろな視点から考えることを学べて良かったです。
- ④ 今まで私は新聞を読む機会がなかったので、授業や家庭学習などで新聞記事から福祉関連のものを採す作業ができてよかった。
- ⑤ 実際に使われている新聞を使い、今の経済や障がいのある方などのニュースについて知ることができました。新聞の見方もわかり、新聞にはたくさん

情報が載っているため今後も活用していきたいです。

- ⑥ 私は今まで新聞を読む習慣がなかった。この授業を通して新聞を読む習慣がついた。新聞を読むことで、日本の社会福祉に関する問題を発見できた。社会福祉の問題に対して自分の意見を持つことができた。また、グループワークで他者の意見を聞くことでさらに考えを深めることができた。

V. 考 察

1. 山陽新聞記者の3回の特別授業は大半の学生が役に立つと回答し、評価している
2. 社会福祉の授業で新聞記事から制度や法律を調べ、要約、感想について課したが、これについては大半の学生が評価している
3. 各単元の実際の事例のビデオ視聴後、感想レポートを課したことについては大半の学生が学習上において役に立つと答えており、評価している
4. 社会科目の授業が、その後の新聞を読む契機となり、以前より新聞を読む学生が45人存在している
5. 学生が新聞を読んでいる時間は5分未満が多い。
6. 新聞全体を読んでいる学生は21人であり、社会保障、社会福祉の記事を読んでいる学生は8人存在している。

VI. 課 題

1. このアンケート調査結果をもとに授業の展開を再検討しなければならない。
2. 事例のビデオ視聴との関わりについてアンケート調査が不十分であったので、次回の調査で再検討が必要である。
3. 新聞を学生に読ませるため何が必要か、もう一度再検討が必要である。
4. 2021年4月「NIE社会的養護演習Ⅰ・Ⅱ」を公開した。このワークブックの保育学科で使用している。このワークブックの授業効果についてもアンケート調査が必要である。
5. これまで保育学科では、「NIEワークブック」の

演習と生の新聞教材を複合した授業を現在実施している。これについての学習効果のアンケート調査が必要である。

VII. 終 わ り に

これまでの研究から、新聞を読んでいる学生が少ないので、新聞を学生に日常的に読んでもらうには、改めて何が必要なのか、再検討が必要である。また、社会福祉の制度、法律に関心を持ってもらうには体的に何が必要かを再検討しなければならない。何と言っても社会福祉の制度や法律に関心がある学生が少ない。また社会保障・社会福祉の法制度の政策決定過程について大学教育等の中で学生に眼を向けさせることが改めて必要である。

「社会福祉」科目において制度や法律を調べ、記事を読んだ感想文を作成することに対して、学生自身も有効性を感じている。しかし、その有効性の根拠がどこにあるのかはさらなる検討が必要である。さらに、文章力の向上や新聞をよく読むことの具体的な要因を探究し、実践方法をさらに検討を加えていくことが必要である。

また、今以上に短期大学教育の中で新聞を読む習慣や新聞を学習に活用する姿勢を身につけさせ、なおかつその効果を持続させるには、社会福祉教育の中で、NIE実践を繰り返すことが肝要だと考えられる。

それから、考察でも述べたが、社会福祉関係科目のNIE実践のワークブックを作成し、授業で実践しているが、学生の授業効果はアンケート調査から明らかになっている。これも考察で述べたが、ワークブックと生の新聞のコラボによる授業がどのように展開し、また、学生に対してはどのような学習効果があるかは早急に研究を進めていきたいと思う。

最後に保育士養成課程として保育士に求められる「社会福祉」の基本的な知識を身につけさせることは重要な課題である。新聞は、「社会福祉」に対して目を向けさせる有力な手段であると考えられる。それとあわせて、短期大学教育として、社会において生活する者としての汎用的な力を身につけさせるため、新聞を読む習慣をつけ、新聞を学習に活用する姿勢を身につける工夫をしていかなければならない。また、文章の作成や、文章をまとめる技能も身につけさせることが必要である。職業教

育にとどまらず，社会生活を送っていくうえでの汎用性のある技能として重要視されるべきものとする。

参 考 文 献

1. 松井圭三他著『教育課程における新聞活用』中国学園紀要第13号2014年
2. 松井圭三他著『新聞活用した文書表現』中国学園紀要第14号2015年
3. 松井圭三他著『教育課程における新聞記事活用と文章表現についての一考察』中国学園紀要第15号2016年
4. 松井圭三他著『短期大学における教育課程での新聞を用いた社会福祉教育の効果の一考察』中国学園紀要第16号2017年
5. 松井圭三他著『N I E家庭支援論演習の実践報告』第19号2020年